学校番号	414

令和８年度　公民科

教科	公民科	科目	政治経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「政治経済」（2 東書　政経 701）　（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 自分が現在生きている社会の政治経済の課題に対して、ただ知識を身につけるだけでなく、主体的に考察し、実際に行動に移せるよう意欲的に取り組むことを期待します
- ワークシートやレポート課題をファイリングするために、ファイルを用意してもらいます

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や，政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，日本および国際社会において国家および社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	合意形成や社会参画に向け，国家および社会の形成者として必要な選択･判断の基準となる考え方や政治･経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題について考察し，社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断し，表現したりしている。	よりよい社会の実現のために，国民主権を担う公民として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 知識および技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行うなかで，自らの学習を調整しようとしている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	第1編　現代日本の政治と経済 第1章　現代日本の政治 1節　民主政治の基本原理	○民主政治への道のりと現代の民主政治，法と民主政治，基本的人権の確立と国際化，世界のおもな政治体制について理解する。 ○法や人権，少数派などの観点に着目し，よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か考察する。	a:民主政治への道のりと現代の民主政治，法と民主政治，基本的人権の確立と国際化，世界のおもな政治体制について理解している。 :考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 b:法や人権，少数派などの観点に着目し，よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か多面的・多角的に考察し，表現している。 c:現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 課題評価 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 課題評価
	2節　日本国憲法の基本原理	○日本国憲法の特徴や憲法改正の議論，基本的人権の保障と「公共の福祉」，平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解する。 ○近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し，日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか考察する。	a:明治憲法と比べた日本国憲法の特徴や憲法改正の議論，基本的人権の保障と「公共の福祉」との関係，平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解している。 :考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 b:近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し，日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか多面的・多角的に考察し，表現している。 c:現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
	3節　日本の政治機構	○国会の権限や運営，内閣の機能と国会との関係，司法権の独立の必要性や裁判のしくみ，地方自治の運営と住民の権利について理解する。 ○国会，内閣，裁判所，地方自治それぞれで行われた改革に着目し，日本の政治機構にはどのような課題があり，どうすればそれを解決できるか考察する。	a:国会の権限や運営，内閣の機能と国会との関係，司法権の独立の必要性や裁判のしくみ，地方自治の運営と住民の権利について理解している。 :考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 b:国会，内閣，裁判所，地方自治それぞれで行われた改革に着目し，日本の政治機構にはどのような課題があり，どうすればそれを解決できるか多面的・多角的に考察し，表現している。 c:現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。			

一学期	4節 現代政治の特質と課題	○政党政治と利益集団，選挙の意義としくみ，選挙をめぐる諸問題，世論形成におけるマスメディアの役割について理解する。 ○具体的な政策を通して，主権者である自分はどのように政治参加をしていけばよいか考察する。	a:政党政治と利益集団，選挙の意義としくみ，選挙をめぐる諸問題，世論形成におけるマスメディアの役割について理解している。 :考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 b:主権者である自分はどのように政治参加をしていけばよいか，具体的な政策を通して多面的・多角的に考察し，表現している。 c:現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 課題評価 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 課題評価
	第2章現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済	○経済活動の特徴，資本主義経済の成立と変容，社会主義経済と新自由主義について理解する。 ○資本主義経済の特徴に着目し，資本主義経済が今日の世界経済の主流となったのはなぜか考察する。	a:経済活動と市場，経済主体と経済循環，国民所得と経済成長，物価と景気変動，財政のしくみと役割および租税などの意義，金融のしくみと機能について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 :現代日本の経済に関する諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 b:個人の尊厳と基本的人権の尊重，対立，協調，効率，公正などに着目して，経済活動と福祉の向上との関連ならびに市場経済の機能と限界，持続可能な財政および租税のあり方，金融を通した経済活動の活性化について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c:現代の日本経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
	2節 現代経済のしくみ	○経済主体と経済の循環，企業の活動と社会的責任，市場経済の機能と限界，国民所得と経済成長，物価と国民生活，金融および財政のしくみと機能について理解する。 ○企業，市場経済，国民所得，金融，財政などの観点に着目し，現代の経済はどのようなしくみで，どのような課題を抱えているか考察する。	a:経済主体と経済の循環，企業の活動と社会的責任，市場経済の機能と限界，国民所得と経済成長，物価と国民生活，金融および財政のしくみと機能について理解している。 :考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 b:企業，市場経済，国民所得，金融，財政などの観点に着目し，現代の経済はどのようなしくみで，どのような課題を抱えているか多面的・多角的に考察し，表現している。 c:現代の日本経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。			

二学期	3節 日本経済の発展と現状	○戦後日本経済の発展と日本経済の現状について理解する。 ○現在の日本経済が抱える課題に着目しながら，戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか考察する。	a:戦後日本経済の発展と，日本経済の現状について理解している。 :考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 b:現在の日本経済が抱える課題に着目しながら，戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか多面的・多角的に考察し，表現している。 c:現代の日本経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 課題評価 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 課題評価
	4節 福祉社会と日本経済の課題	○公害と環境保全，農業・食料問題，中小企業の現状と課題，情報化の進展と課題，消費者問題，雇用と労働問題，社会保障と福祉社会の実現について理解する。 ○日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるか考察する。	a:公害と環境保全，農業・食料問題，中小企業の現状と課題，情報化の進展と課題，消費者問題，雇用と労働問題，社会保障と福祉社会の実現について理解している。 :考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 b:日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるか多面的・多角的に考察し，表現している。 c:現代の日本経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
	第3章 現代日本の諸課題	○社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，習得した概念や理論などを活用しながら，他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本の諸課題の解決に向け，政治と経済を関連させて多面的・多角的に考察したり構想したりする活動を通して，よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明，論述し，合意形成や社会参画に向かうことができるようにする。	a:現代日本における政治・経済の諸課題に関する諸資料について，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 b:少子高齢社会における社会保障，地域社会の活性化，多様な働き方・生き方の実現，中小企業の意義と課題，日本財政の健全化，持続可能な食料・農業の実現，防災と安全・安心な社会の実現などについて，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c:現代日本における政治・経済の諸課題について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし，合意形成や社会参画に向かおうとしている。			

二学期	第2編 グローバル化する国際社会 第1章現代の国際政治 1節 国際政治のしくみ	○国際社会の成立と主権国家，国際社会の秩序維持と国際法，国際連盟の成立と挫折，国際連合の役割と課題について理解する。 ○国際社会のさまざまな主体やルールに着目して，国際社会における利害調整や紛争解決がどのように行われているか考察する。	a:国際社会の成立と主権国家，国際社会の秩序維持と国際法，国際連盟の成立と挫折，国際連合の役割と課題について理解している。 :考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 b:国際社会のさまざまな主体やルールに着目し，国際社会における利害調整や紛争解決がどのように行われているか多面的・多角的に考察し，表現している。 c:国際社会のさまざまな主体やルールに着目し，国際社会における利害調整や紛争解決がどのように行われているか多面的・多角的に考察し，表現している。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 課題評価 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 課題評価
	2節 複雑化する国際政治と日本	○第二次世界大戦後の国際関係の展開と日本，地域主義の動き，軍縮の動向と課題，地域紛争と難民問題，国際社会における日本の役割について理解する。 ○国際社会の各主体の役割や自分自身との関わりに着目して，国際対立や地域紛争を解決し，平和を実現するにはどうすればよいか考察する。	a:第二次世界大戦後の国際関係の展開と日本，地域主義の動き，軍縮の動向と課題，地域紛争と難民問題，国際社会における日本の役割について理解している。 :考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 b:国際社会の各主体の役割や自分自身との関わりに着目して，国際対立や地域紛争を解決し，平和を実現するにはどうすればよいか多面的・多角的に考察し，表現している。 c:現代の国際政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
	第2章 現代の国際経済 1節 国民経済と国際経済	○自由貿易と国際分業，為替レートの変動，国際収支のしくみ，戦後国際経済体制の展開，南北問題や南南問題について理解する。 ○貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて，世界の人々のより豊かな生活を実現するためにはどうすればよいか考察する。	a:自由貿易と国際分業，為替レートの変動，国際収支のしくみ，戦後国際経済体制の展開，南北問題や南南問題について理解している。 :考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 b:貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて，世界の人々のより豊かな生活を実現するためにはどうすればよいか多面的・多角的に考察し，表現している。 c:現代の国際経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。			

三学期	2節 世界経済の現状と課題	○グローバル化する世界経済や，地球環境問題，資源・エネルギー問題，貧困問題などの主要な地球的課題について理解する。 ○地球社会の一員としての立場から，地球規模の課題について自分はどのように対処していけばよいか考察する。	a:グローバル化する世界経済や，地球環境問題，資源・エネルギー問題，貧困問題などの主要な地球的課題について理解している。 :考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 b:地球社会の一員としての立場から，地球規模の課題について自分はどのように対処していけばよいか多面的・多角的に考察し，表現している。 c:現代の国際経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	発問評価 小テスト	発問評価 課題評価 ペアワーク	授業態度 発問評価 課題評価
	第3章 国際社会の諸課題	○社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，習得した概念や理論などを活用しながら，他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる国際社会の諸課題の解決に向け，政治と経済を関連させて多面的・多角的に考察したり構想したりする活動を通して，よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明，論述し，合意形成や社会参画に向かうことができるようにする。	a:国際社会における政治・経済の諸課題に関する諸資料について，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 b:グローバル化にともなう社会変容，地球環境と資源・エネルギー問題，国際的な経済格差の是正，イノベーションの促進と成長市場，民族問題と紛争の解決，持続可能な社会の実現などについて，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c:国際社会における政治・経済の諸課題について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし，合意形成や社会参画に向かおうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度